

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	まなび創造館施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	まなび創造館			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	事業係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		18 男女共同参画		1 男女共同参画意識の高揚を図る				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	9	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	施設の維持管理及び貸し出しを行うことにより、スポーツ・体力づくり・健康増進の場として、まなび創造館を多くの市民に利用してもらい、男女共同参画の振興を図る。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 まなび創造館の建物(専用部分及び共用部分の一部)の施設保守点検及び保安警備業務、環境整備業務とこれらにかかる光熱水費を含めた管理を委託した。 あさひホールの舞台機構設備、照明設備、音響設備及び舞台効果設備等を安全かつ効率的に運用し利用者のニーズに対応するため、熟練した業者に委託した。 また、平成7年ラピオビル建設から18年目に入り、設備及び建物の老朽化による修繕が必要のため予算計上し、修繕を実施した。さらに24年度は、遊具コーナーの遊具の変更やスポーツセンター入口にゲートを設置し、小さな子どもの安全対策を講じた。</p> <p>【直接経費の内訳】 修繕料(2,882千円)、ピアノメンテナンス等(122千円)、施設管理委託(186,694千円) 舞台管理委託(8,789千円) パソコン教室用パソコン・施設管理器具・清掃用具借上(2,365千円) 備品購入(175千円)、修繕負担金(31,627千円)、消耗品(388千円)</p> <p>【その他財源の内訳】 施設使用料、附属設備使用料(4,436千円) ※単価については、小牧市まなび創造館の設置及び管理に関する条例による。</p> <p>◎25年度実施内容 24年度と同様に実施する。</p> <p>【直接経費の内訳】 修繕料(3,170千円)、ピアノメンテナンス等(165千円)、施設管理委託(180,360千円) 舞台管理委託(10,598千円) パソコン教室用パソコン・施設管理器具・清掃用具借上(2,325千円) 備品購入(411千円)、修繕負担金(32,919千円)、消耗品(572千円)</p> <p>【その他財源の内訳】 施設使用料、附属設備使用料(4,005千円) ※単価については、小牧市まなび創造館の設置及び管理に関する条例による。</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	230,106	214,286	233,042	230,520	
		正職員	従事者数	人	0.01	0.01	0.01	0.01
			人件費	千円	53	53	53	53
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	230,159	214,339	233,095	230,573		
対前年比	%		93.1	108.7	98.9			
財源	一般財源	千円	225,451	210,132	228,659	226,578		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	4,708	4,207	4,436	3,995		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	女性センター・学習広場1日当り利用人数	人	目標	203	252	258
実績				240	245	244	
スポーツセンター1日当り利用人数		人	目標	489	456	473	486
			実績	435	450	463	
開館日		日	目標	—	—	—	—
			実績	346	347	346	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
女性センター・学習広場利用人数	人	目標	70,050	87,540	89,468	88,986	
		実績	83,372	85,207	84,749		
スポーツセンター利用人数	人	目標	168,923	158,150	164,094	168,334	
		実績	150,619	156,280	160,318		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	女性センターでは、利用件数は微増しているが、利用人数は減少した。学習広場では、市民ギャラリーの利用が大幅に増加した。スポーツセンターでは、施設利用・個人利用ともに微増した。	
		事業実施における課題	施設の老朽化に伴い、修繕負担金が増えていく可能性がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	施設保守点検及び保安警備が行われなくなり、施設の安全な管理ができなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	施設や備品等の適切な保守管理に努める。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由		適切な施設管理を行い、利用者のニーズに対応しながら、安全に安心して利用していただくことが必要不可欠である。		
26年度以降の改善案		施設等の管理は計画的に適切な対応をしていく。幅広い年齢層の集客と利用率アップのため、方策を検討する必要がある。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。